

# 教育の充実

## 全国学力・学習状況調査結果

毎年、小学六年生と中学三年生を対象に実施されている「全国学力・学習状況調査」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、二年ぶりの実施となりました。

本調査は、結果を基に児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導や学習状況のさらなる改善を図るために実施されています。

小学校	国語	算数
	平均正答数	平均正答数
筑前町	9.3/14	11.0/16
福岡県（公立）	9.2/14	11.3/16
全国（公立）	9.1/14	11.2/16

  

中学校	国語	数学
	平均正答数	平均正答数
筑前町	9.1/14	9.2/16
福岡県（公立）	9.1/14	9.3/16
全国（公立）	9.0/14	9.1/16

小・中学校の国語、中学校の数学が全国を上回る

### 〈学力に関する調査〉

学力に関する本年度の調査対象は、国語、算数・数学でした。町の結果ですが、国語の平均正答数は、小学校は県・全国を上回り、中学校は県と同等、全国を上回りました。一方、算数・数学の平均正答数は、小学校は県・全国を下回り、中学校は県には及ばないものの全国を上回りました。前回調査と比べると、小学校については上昇傾向にあります。

学力向上に関する町全体の取組として、「学力の基盤づくり」では「個に応じた指導の充実（つまずきに応じたさまざまな支援）」、「日常の授業」では「書く活動の充実」を重視し、各学校で実践してきました。今回の調査では、【学力低位層の児童生徒数の割合は全国よりも低い】、【回答形式が記述式の問題の正答率は、小・中学校ともに全国を上回る】という結果でした。これらのことから、重点的な取組については一定の効果が見られたと考えています。

### 〈学習状況等に関する調査〉

現在、各学校においては、詳しい分析結果や指導方法等の評価について全教職員で共有され、さらなる授業改善が進められています。



生活習慣や学習環境に関する町の結果は、「地域や社会のために役立つ」、「自分とは異なる意見について考えたり交流したりすることは楽しい」と感じている児童生徒が多いことが分かりました。

また、例年課題であった家庭学習の時間については、1時間未満の児童生徒数の割合は、小学生では依然として高い傾向にあるものの、中学生は改善傾向にあります。しかし、中学生も2時間以

### 〈今後の取組〉

上の割合は県、全国よりも低いので、今後も学校・家庭・地域が連携し、学習に対する意欲の喚起や家庭学習の定着を図っていくことが大切です。

本年度から町立学校に通う全児童生徒に一人一台のタブレット端末が配備されました。各学校においては、タブレットを含むICTなどを有効に活用し、個に応じた指導の充実に努めます。

また、三輪・夜須中学校の生徒会が中心となって「筑前町ネット4ない宣言」の見直しが行われ、「筑前町ネットつきあおう条例」が完成しました。この条例を活用し、学校・家庭・地域が連携した「情報モラル教育」にも取り組んでいきます。

**ネットつきあおう条例**

筑前町立小中学校 じょうれい

筑前町内小中学校児童会・生徒会

- つ かう目的を考えるべし
- き めた時間を守るべし
- あ いての顔みて話すべし
- う たがってみるべし

後援者の声（アンケートより）

- 学や目標のために必要なプラスの使い方をしたい
- メリハリのある使い方も自分でコントロールしてほしい
- ネット上の付き合いだけでなく、学校生活でのコミュニケーションや人間関係を大切にしたい
- まちがった情報もたくさんあるので、すべてのことをうのみにしないでほしい